



学校だより

No.21

# 笑顔輝く南っ子

上田市立南小学校

令和 2年 1月31日

## 今年度の学校評議員会・「南っ子応援隊」運営委員会を受けて

先日、第3回学校評議員会・「南っ子応援隊」運営委員会(信州型コミュニティスクール運営委員会)が開催されました。今年度も「地域とともにある学校づくり」へ向けた仕組みや取組、学校サポート活動(学校支援ボランティア)等について学校評議員及びボランティア代表の皆様方からは多面的・多角的な提言をいただきました。紙面の関係上、皆様からのご意見・ご提言及びそれに対する学校の対応・成果等は、ここで紹介することができませんが、次年度の学校運営・教育課程編成に生かしていきたいと思っております。

### 第1回学校評議員会兼「南っ子応援隊」運営委員会

令和元年 6月11日(火)17:30-19:00

【参加者】◆学校評議員:竹田貴一様・矢澤智都枝様・高橋比呂美様・岡村さつき様・笹澤千秋様

◆ボランティア代表:本田千亜紀様・北沢育夫様

◆学校長・教頭・教務主任・地域連携主任

【主な内容(説明・協議・懇談・提言)】 (学校評議員の委嘱・自己紹介も含む)

- 1 学校目標と本年度の運営方針
- 2 本校の現状と課題 子どもの様子及び生徒指導の現状 学校評価について 質疑・意見・提言
- 3 南っ子応援隊について(地域連携)～今年度の取組の方向～

### 第2回学校評議員会

令和元年11月6日(水)17:30-19:00

【参加者】 ◆学校評議員:柳沢長男様・竹田貴一様・矢澤智都枝様・岡村さつき様

◆学校長・教頭・教務主任・地域連携主任

【主な内容(説明・協議・懇談・提言)】

- 1 2学期の行事及び子どもたちの様子
- 2 本校児童の学力の現状及び学力向上に向けた取組
- 3 南っ子応援隊の取組(地域連携)～今年度の取組状況の中間報告～
- 4 学校自己評価(中間報告)～前期保護者アンケート・児童アンケート・教職員自己評価より～
- 5 非違行為防止研修実施中間報告書(学校評議員が第三者委員の非違行為防止委員を兼ねる)

### 第3回学校評議員会兼「南っ子応援隊」運営委員会

令和2年 1月28日(火)13:35-15:50

【参加者】 ◆学校評議員:柳沢長男様・竹田貴一様・矢澤智都枝様・岡村さつき様・笹澤千秋様

◆ボランティア代表:本田千亜紀様・北沢育夫様

◆学校長・教頭・教務主任

【主な内容(説明・協議・懇談・提言)】

- 1 2学期後半～3学期の子どもたちの様子・学校の様子
- 2 南っ子応援隊について(地域連携)～今年度の取組の報告と次年度に向けた方向の検討～
- 3 非違行為防止研修実施報告書←非違行為防止委員(第三者委員:学校評議員)からの提言・評価等
- 4 学校自己評価の結果及び学校関係者評価の依頼～学校関係者評価委員会の評価～
- 5 次年度の学校運営・教育課程編成に向けて

### 今年度の学校支援ボランティア・南っ子応援隊の活動状況

実人数

頻度

読み聞かせ:「母親文庫パンプキンズ」「自由塾語りの会」「読みの会稲穂」

約20

週1回

毎週金曜日:朝のドリル学習の学習支援・丸付け支援ボランティア

16

週1回

日常の学習支援(通常学級授業・特別支援学級授業)ボランティア

7

週1～5回

クラブ活動外部講師(将棋・茶道・けん玉・サッカー・ニュースポーツ・絵手紙・

フラワーアレンジメント・スイーツデコ・ウッドアート・パソコン・バトミントン)

11

年7回

家庭科学習支援:5・6年家庭科ミシン操作支援

約20

年20回

環境整備:清掃時落ち葉掃き支援

約10

11月中

校外学習同行・5年高原学習烏帽子岳登山サポートボランティア

10

年1回

# 第69回 “社会を明るくする運動” 長野県作文コンテスト

## 最優秀賞 長野県保護観察所長賞

(県下小中学校総応募数12,628点)

### 「一步をふみ出す勇氣」 上田市立南小学校 6年 堀内 結菜

私が1年生だった頃、朝の登校中を通る、ある家にロープが張られていたのだが、その日も友達4人で登校し、何の悪気もなくみんなでそのロープを触ってしまった。その時、家の中から「何しているの！！あんた達何年生？学校に言いつけるよ。」

という怖い声が聞こえてきた。ビクッとして、慌ててその場を逃げ出してしまった。私の中でそのロープのおばちゃんは、目がつり上がっていて、いつも怖い顔をしているイメージで、苦手な存在になってしまった。登校中にロープのおばちゃんに会わなくても、その家の前を通るだけで、何も悪いことをしていないのに、何だか緊張して、不安な気持ちが湧き上がってきた。どうしても、怖い気持ちから、そのロープのおばちゃんを心の中で逃げてしまっていた。

それから何年かして、その日も同じように学校へ向かって歩いてきたのだが、ふと前を見るとロープのおばちゃんが、朝から草取りをしていた。

「うわっ。」と思った。

手のひらに汗がにじんだ。それでも前に進まなければいけない。勇氣を出して、歩いていくと、なんとロープのおばちゃんと目が合ってしまった。とっさに私の口から、

「おはようございます。」

と言う言葉が出た。それにも驚いたが、もっと驚いたのは、ロープのおばちゃんが、「おはよう。あいさつができていいね。最近の子は、あいさつをしてくれなくてさみしく思っていたんだよ。」

と、ニコニコした顔で答えてくれたことだ。あまりの驚きに、体が熱くなった。今まであんなに怖くて苦手だったロープのおばちゃんが目の前で優しく笑っているのだ。その時に感じた、ホッとした気持ちと、うれしい気持ちは今でも覚えている。「おはようございます」のたった一言で、ロープのおばちゃんの印象が、目のつき上がった怖い顔から、優しく、丸い印象に変わったのだ。この経験は、私にとってとても衝撃的だった。後から知ったのだが、ロープのおばちゃんも、よく家のロープをいたずらされて嫌な思いをしていたそうだ。

人は、見かけや印象で、相手に対してイメージを作り上げてしまい、苦手意識をもってしまった。逆に親しみを感じるなどの傾向がある。私も学校で、友達と接する時に、自然とイメージを作り上げてしまうことがあるが、そこで一步ふみ出して、声をかけてみると、全く違う印象に変わり、そこから本当の結びつきができるような気がする。勝手なイメージで、その人自身を決めつけるのではなく、まずは声をかけてみるのが大切だということもロープのおばちゃんから学んだ。学校で起こるいじめやけんかも相手にいづく勝手なイメージから起きていることもあるかもしれない。勇氣を出して声をかけ合えれば、相手の気持ちに少しでも寄り添え、いじめやけんかも減るのではないかと思う。私は今、ロープのおばちゃんに少し寄り添えたような気がしている。

社会生活において、なくてはならないものは、やはり人と人との結びつきだと思う。私やまわりのみんなが今できることは、例え苦手な人だとしても、勇氣を出してその人に声をかけ、結びつきを深めていくことだ。そこから生まれるのが絆だ。私の名前は両親が、色々な人やものと出会い、結びつきを大切にしてほしいという願いを込めてつけてくれた。その思いを大切に、人との輪を広げられる人間になりたい。そして、みんながそのような気持ちをもてば、人の結びつきが自然とでき、絆や優しさ、思いやりが生まれ、犯罪やいじめの少ない明るい社会になると思う。難しい課題

だが、まずはそこから一步始めてみたい。

南小学校では、今のところインフルエンザ罹患者数はあまり増えてはいません。各学年の最後の参観日等も残っており、予定通りできることをひたすら願っているところです。今年度最後の参観日には、一年間の子どもの学習の成果を見ていただきたいと思います。沢山の皆さんの参観お待ちしております。



上田市立南小学校  
文責：教頭 永井 宏樹  
上田市中之条485  
TEL:0268-25-3721  
FAX:0268-25-3722  
E-mail minami@school.umic.jp